



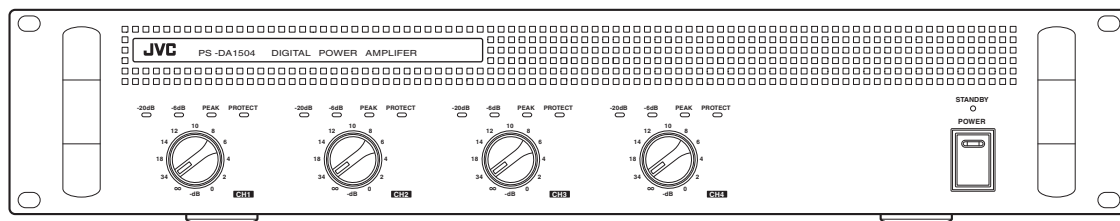
お客様へ：

本書には、設置に関する記載が
されておりますが、設置は必ず
専門の業者にお任せください。

デジタルパワーアンプ

型
名 **PS-DA1504**

取扱説明書



ご購入ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をお読みのうえ、正しく
お使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読み
いただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読み
ください。

製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際は
本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番
号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお
確かめください。

特長

省電力設計

本機はD級増幅方式で電力増幅を行い、スイッチング電源を採用したパワーアンプです。定格出力時、75%以上の効率、省電力設計を実現しました。

チャンネルごとに接続するスピーカーの種類を切り替えることが可能

スピーカー端子に接続するスピーカーについて、チャンネルごとにローインピーダンススピーカーとハイインピーダンススピーカーを切り替えることができます。

業務用として各種保護回路を搭載

温度保護回路：本機の内部温度を監視し、出力を遮断。温度上昇によるトラブルを防ぎます。
過電流保護回路：過負荷・出力短絡などによるトラブルを防ぎます。
DC電圧出力保護回路：アンプ出力からのDC電圧を検出し、出力を遮断。スピーカーの破壊を防ぎます。

3ポイントのシグナルインジケータを装備

動作状態が一目で監視できる SIGNAL(2ポイント)と PEAK インジケータを採用しています。

電源 ON/OFF の外部制御可能な外部起動端子を装備

フロントパネルのスイッチ操作以外で電源 ON/OFF の遠隔操作が可能な、外部起動端子 (EXT CONTROL) を装備しています。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	2
安全上のご注意	3
正しくお使いいただくためのご注意	6
各部の名称とはたらき	8

接続 / 設置 (設置業者さま向け)

接続のしかた	10
ラックへの組み込みについて	13
ブロックダイアグラム	15

その他

困ったときは	16
保証とアフターサービス	18
仕様	19

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- ☞ : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

■ 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意

■ してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

■ 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線を必ず接続せよ



警告

異常が発生したとき

■ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しないでください

火災や感電の原因となります。

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき
- 内部に水や物が入ってしまったとき
- 落したり、キャビネットが破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



設置について

■ 本機の設置は、技術を必要とします。設置工事は必ず、お買い上げ販売店に依頼してください。

■ 不安定な場所に置かないでください。ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。

■ 通風孔をふさがないでください

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

次のことに注意してください。

- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

■ この機器の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かないでください

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■ 本機の上に火のついたものを置かない

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

（次のページへつづく）

警告

設置について

■ 風呂場など水のある場所で使わないでください

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



電源や電源コードについて

■ 電源コードの安全アースを接続してください

必ずアース接続を行なってください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。



■ 表示された電源電圧 (交流 100 V) 以外で使用しないでください

火災や感電の原因となります。



■ 本機は日本国内専用です

必ず商用電源 AC100 V 50 Hz/60 Hz で使用してください。



■ 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください

感電の原因となります。



■ 電源コードを傷つけないでください

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない



■ 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しないでください

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



取り扱いについて

■ 内部に物を入れないでください

通風孔から、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



警告

取り扱いについて

■ 本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



■ ファンモーターを無理に停止させない

本機内蔵のファンモーターを無理に停止させると、機器内部に熱がこもり、火災ややけど、故障の原因となります。



注意

設置について

■ 次のような場所に置かないでください

火災や感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる所
- 窓ぎわなど水滴が発生しやすい所



■ この機器の上に重い物を置かないでください

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



■ 棚置きで使用する場合、機器の周囲に隙間を取ってください

本機を設置するときは下記のように設置スペースを確保してください。

上面：5 cm 以上、側面：5 cm 以上、背面：10 cm 以上



■ 設置後は、必ずポリ袋を回収してください



⚠ 注意

- テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続してください

接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



- 外部接続端子を接続する場合は本機のグラウンドと外部機器のグラウンドを同電位にして接続してください

異電位で接続すると感電の危険性や信号源または本製品が壊れる恐れがあります。



電源や電源コードについて

- 電源プラグはコードの部分を持って抜かないでください

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグ部分を持って抜いてください。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電の原因となることがあります。



- 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずしてください

接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



- 電源コードは、本機に付属のもの以外を使用しないでください
また、付属の電源コードは本機専用のため本機以外の機器では使用できません

必ず本機に付属のものをご使用ください。許容電流の異なるコードや、傷ついたコードを使用すると、火災や感電の原因になります。



⚠ 注意

- 電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設けてください

電源スイッチを切っただけでは、機器は電源から完全に遮断されません。

完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



取り扱いについて

- この機器の上に乗らない、ぶら下がらないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください

安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



- この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手が届くところに置かないでください

頭からかぶると窒息の原因となります。



お手入れについて

- 2～3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼してください

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。



- お手入れするときは電源プラグを抜いてください

感電の原因となることがあります。



音声・スピーカーについて

- 音量を下げてから、電源を入れてください

音量が上がっていると、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- 長時間、音がひずんだ状態で使わないでください

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



正しくお使いいただくための ご注意

本機は、非常用放送設備としては使用できません。

■ 電波障害について

警告：

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保管および使用場所

- 次のような場所に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度 (0 °C ~ 40 °C) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度 (10%RH ~ 90%RH) 範囲外の湿気の多いところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 振動の激しいところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機の上に水の入ったもの(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かないでください。機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- オプション機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。オプション機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。
- 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続してください。電源コードやスピーカーケーブルなどの電力線とマイクケーブルや、赤外線ワイヤレスシステムの受光センサー用同軸ケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。
- 過大入力による連続使用は、破損の原因となります。頻繁に PEAK ランプが点灯する状態で使用しないでください。
- 運用状態によって、本体ケースが熱くなることがあります。運用中や電源を切った直後はさわらないでください。
- 横倒しや逆さまに設置しないでください。安定した水平な場所に置いて使用してください。

移動について

- 移動するときは接続コード類をはずしてください。移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を箱から出すときや、移動の際に持ち運ぶときは、誤って落とさないよう、十分に注意して取り扱ってください。

お手入れについて

- お手入れするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 殺虫剤など揮発性の薬品をかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤(かそざい)の働きによって変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。

本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用すると、本機の動作に影響が出ることがあります。

ミュート動作について

- 電源を入れてから3秒～5秒間は音が出ませんが、これはミュート動作のためで、故障ではありません。

冷却ファンについて

- 冷却ファンは消耗品です。30,000時間を目安に交換してください。ただし、この時間は交換の目安です。部品を保証するものではありません。
- 冷却ファンの交換はお買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

電源の投入について

- すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行なってください。
- 周辺機器と組み合わせて使用する場合、本機の電源は最後に入れてください。また、電源を切るときは本機の電源を最初に切ってください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

設置場所について

- 本機の上に音声信号レベルの小さい機器を設置すると、雑音が出ることがあります。CDプレーヤー、テープデッキ、グラフィックイコライザーなどはできるだけ離して設置してください。

配線について

- マイクケーブルやライン信号ケーブル、赤外線ワイヤレスシステムの受光センサー用同軸ケーブルを電源コードやスピーカーケーブルと一緒に配線しないでください。受信障害やノイズの原因となります。10cm以上は離して配線してください。

バランスケーブルの使用について

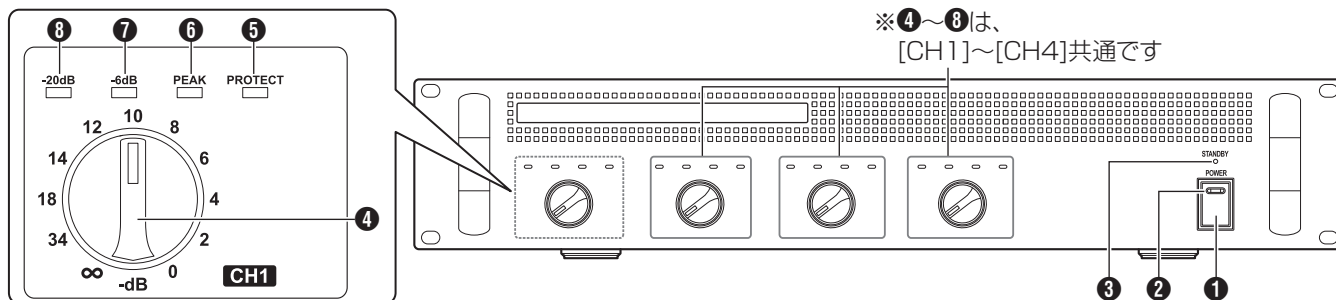
- アンバランス(不平衡)タイプのケーブルを5m以上延長すると、電源からの誘導雑音(ブーンという音)や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。ケーブルを延長する場合は、バランス(平衡)タイプのケーブルを使用してください。

接続について

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。
- 過負荷は故障の原因となります。必ず指定のインピーダンスになるようにシステムを設計してください。
Lo(ローインピーダンス時): $8\Omega \sim 16\Omega$
Hi(ハイインピーダンス時): 67Ω 以上

各部の名称とはたらき

フロントパネル

**① [POWER] 電源スイッチ**

電源 ON/OFF スイッチです。

電源スイッチを ON にすると、電源ランプ **②**、プロテクト表示ランプ **⑤** が点灯します。

3 秒～5 秒後にプロテクト表示ランプ **⑤** が消灯し、運用可能な状態になります。

電源スイッチを OFF にするとスタンバイ状態になり、スタンバイランプ **③** が点灯します。

メモ：

- リアパネルの外部起動端子 **⑭** を使用すると、電源の ON/OFF が外部制御できます。(P. 12 ページ)
- 外部起動端子を使用する場合は、電源スイッチを OFF にします。

② 電源ランプ (青)

電源スイッチ **①** を ON にすると点灯します。外部起動端子による電源 ON 時にも点灯します。

電源スイッチ **①** を OFF にする、または外部起動端子による電源 OFF にすると消灯します。

③ [STANDBY] スタンバイランプ (オレンジ)

電源スイッチ **①** を OFF にする、または外部起動端子による電源 OFF にするとスタンバイ状態になり、オレンジ色に点灯します。

④ 入力アッテネーター

音量を設定するときに使用します。ピークシグナルインジケータ **⑥** が点灯しないように、音量を設定し、使用してください。

クリックポジション付きです。

ご注意：

- スピーカーを接続しないチャンネルは、入力アッテネーターを必ず “∞” の位置 (絞りに) に設定してください。

⑤ [PROTECT] プロテクト表示ランプ (赤)

保護回路が動作して出力が遮断された場合に点灯します。(ミュート動作) 電源を入れたら点灯、3 秒～5 秒後に消灯し動作状態に入ります。

- DC 電圧出力保護回路が動作した場合は、直流電圧差が無くなれば、自動復帰します。
- 連続過大出力、過負荷などの異常状態で温度保護回路が動作した場合、本機内の温度が下がれば、自動復帰しますが、何度も保護回路が動作する状態での継続使用は、機器が破損する恐れがあるのでおやめください。
- パワーアンプの回路に供給している電源に異常が生じると、安全のため電源が供給されなくなり、すべてのランプが消灯します。
- 過電流保護回路が動作した場合、自動復帰しません。異常を取り除いてから、再度電源を投入してください。
- 消灯しない場合は、何らかの異常が考えられます。電源を切って使用を中止し、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

ご注意：

- 各保護回路は、本機に異常が発生した場合や異常な運用状態の場合に動作し、本機を保護するものです。保護回路が動作し続けている異常状態での継続使用は、機器が破損する恐れがあるのでおやめください。

⑥ [PEAK] ピークシグナルインジケータ (赤)

出力が定格出力付近になると赤色に点灯します。インジケータが点灯しないよう、音量を下げてください。

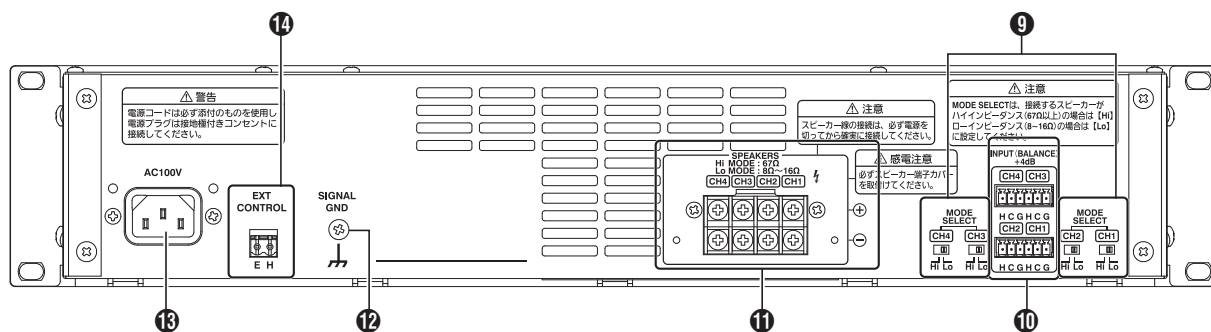
⑦ [-6dB] シグナルインジケータ (緑)

出力信号レベルが定格出力の -6dB 以上になると緑色に点灯します。

⑧ [-20dB] シグナルインジケータ (緑)

出力信号レベルが定格出力の -20dB 以上になると緑色に点灯します。

リアパネル



⑨ [MODE SELECT] 設定スイッチ

設定スイッチは CH1 ~ CH4 まで各チャンネルごとに設定できます。

Lo: ローインピーダンススピーカーを使用する場合に設定します。

(☞ 11 ページ)

Hi: ハイインピーダンススピーカーを使用する場合に設定します。

(☞ 11 ページ)

ご注意:

- 設定スイッチの切り替えは電源を切ってから行なってください。ノイズなどによって、スピーカーが破損する原因となることがあります。

⑩ [INPUT(BALANCE)+4dB], [CH1 CH2, CH3, CH4] 入力端子 (+4dB / 20kΩ)、(電子平衡)、(コネクター端子台)、(0dB=0.775Vrms)

音声信号の入力端子です。付属のコネクター端子台を使用して接続します。(☞ 11 ページ)

ご注意:

- 接続は電源を切ってから行なってください。ノイズなどによって、スピーカーが破損する原因となることがあります。

⑪ [SPEAKERS], [CH1 ~ CH4] スピーカー出力端子
音声信号の出力端子です。スピーカーと接続します。

(☞ 11 ページ)

- 設定スイッチ ⑨ の CH1 ~ CH4 の Hi/Lo 設定で、接続できるスピーカーのインピーダンスは下表のとおりです。

設定スイッチ ⑨	インピーダンス	
CH1 ~ CH4	Hi	67Ω 以上
	Lo	8Ω ~ 16Ω

- 接続時、スピーカー端子カバーをはずします。接続完了後、感電防止のため、スピーカー端子カバーを必ず取り付けてください。(☞ 10 ページ)

ご注意:

- 出力回路の並列接続はできません。
- 上記の表中のインピーダンス以外のスピーカーを接続しないでください。火災・故障の原因となることがあります。また、本来の性能が得られません。
- スピーカー出力端子の ⊖ 側はアース電位ではありません。アースには接続しないでください。
- ⊖ 同士を接続したり、⊖ 端子を他のチャンネルと共用しないでください。火災・故障の原因となることがあります。

⑫ [SIGNAL GND] シグナル接地端子

システム配線時に、機器どうしのシャーシアースを取る場合に使用します。

ご注意:

- 安全アースではありません。

⑬ AC インレット

付属の電源コードを接続します。電源コードは必ず商用電源 AC100V に接続してください。

(☞ 10 ページ)

ご注意:

- 電源コードは接地極付きコンセントに接続してください。

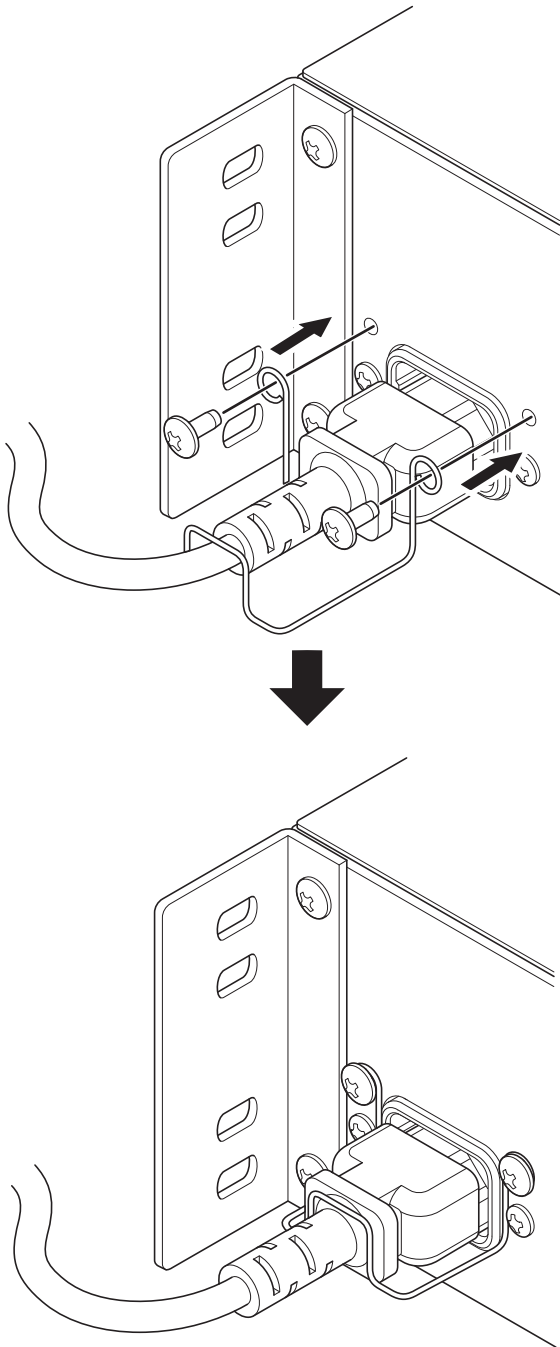
⑭ [EXT CONTROL] 外部起動端子

電源の ON/OFF が外部制御できます。(☞ 12 ページ)
E と H を短絡すると電源が ON になります。

接続のしかた

電源コードについて

- 1 付属の電源コードを AC インレットに接続する。
- 2 接続後は、付属の電源コードクリップを付属の電源コードクリップ固定用ねじ (M4x2) を使用して固定する。

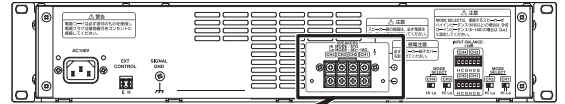


スピーカー端子カバーの取り扱いについて

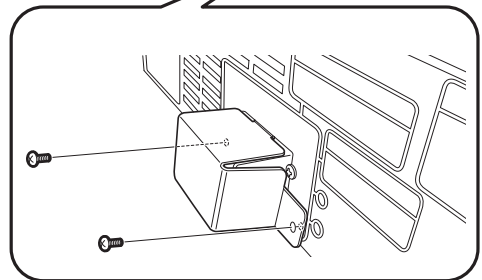
スピーカーケーブルの接続時、スピーカー端子カバーをはずします。スピーカーの接続後は必ずカバーを元どおりに取り付けてください。

■ スピーカー端子カバーの取りはずしかた

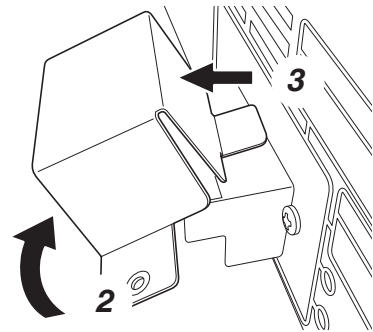
- 1 スピーカー端子カバーを取り付けているねじ 2 個をはずす。



<PS-DA1504背面>

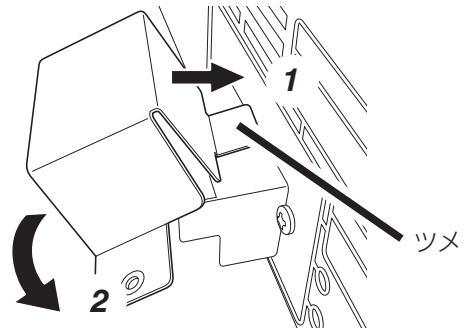


- 2 スピーカー端子カバー底面を上を持ち上げる。
- 3 手前に引いてスピーカー端子カバーを取りはずす。



■ スピーカー端子カバーの取り付けかた

- 1 スピーカー端子カバーのツメを本機背面スピーカー端子の上にある穴に差し込む。
- 2 スピーカー端子カバーをスピーカー端子にかぶせる。



- 3 スピーカー端子カバーを取り付けていたねじ 2 個でスピーカー端子カバーを取り付ける。

スピーカーの接続について

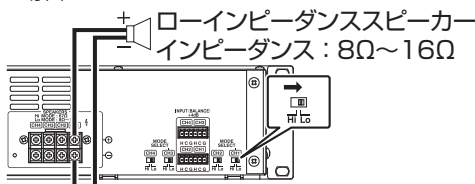
ご注意：

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。
- スピーカー出力端子のねじを必要以上にゆるめないでください。ねじがはずれて紛失する恐れがあります。
- スピーカーは、必ず同じチャンネルの ⊕ 端子と ⊖ 端子間で接続してください。ほかの組み合わせでは、故障の原因となります。
- ケーブル同士のショートや、マイナス端子とシャーシの接触にご注意ください。ショートしたままご使用すると、故障の原因となります。
- スピーカー出力端子のねじがゆるまないようにケーブルを固定してください。
- 感電防止のため、スピーカーの接続後は必ずスピーカー端子カバーを取り付けて使用してください。
- 接続したスピーカーの種類に合わせて、MODE SELECT スイッチを正しく設定してください。
本機の出荷時は「Lo」側に設定されています。

ローインピーダンススピーカーの接続

ローインピーダンススピーカーを接続するチャンネルの MODE SELECT スイッチを「Lo」側に設定してください。

接続例：CH1 にローインピーダンススピーカーを接続する場合



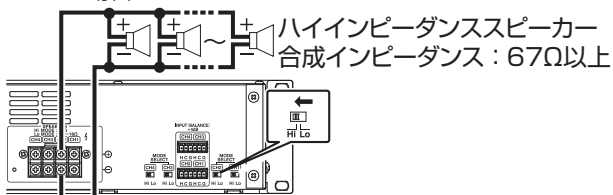
ご注意：

- 8Ω以下のスピーカーを接続することはできません。
- ローインピーダンススピーカーとハイインピーダンススピーカーを同じチャンネルに接続することはできません。

ハイインピーダンススピーカーの接続

ハイインピーダンススピーカーを接続するチャンネルの MODE SELECT スイッチを「Hi」側に設定してください。

接続例：CH2 にハイインピーダンススピーカーを接続する場合



ご注意：

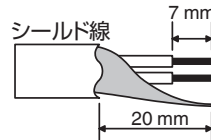
- スピーカーの合成インピーダンスが適合インピーダンス (67Ω) より小さくならないようにしてください。
- ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同じチャンネルに接続することはできません。

接続ケーブルについて

■ コネクター端子台 (6 ピン) の配線

本機の入力端子への接続は、下記を参照し、付属のコネクター端子台 (6 ピン) をケーブルに取り付けて使用してください。

- 1 ケーブル (シールド線) を下図のように処理する。

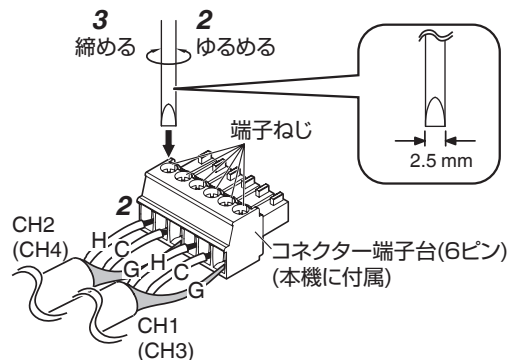


- 2 マイナスドライバーを使って端子ねじをゆるめ、ケーブルを差し込む。

メモ：

- マイナスドライバーは、ブレード幅が 2.5mm 程度のものを使用してください。
- 適合するケーブルの断面積の最大値は 1.5mm² です。
- ケーブルは 2 芯シールドタイプのマイクケーブルを使用してください。

- 3 端子ねじを締め付け、ケーブルが抜けないことを確認する。

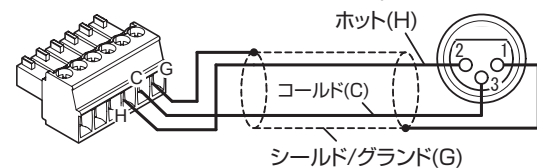


- 4 本機の入力端子に接続する。

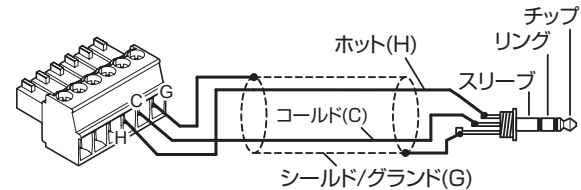
■ 接続ケーブルの作製方法

接続ケーブルを作製する場合は、下図を参考にしてください。

平衡タイプ: XLR タイプコネクター (XLR-3-11 相当)



平衡タイプ: φ6.3 複式フォンプラグ



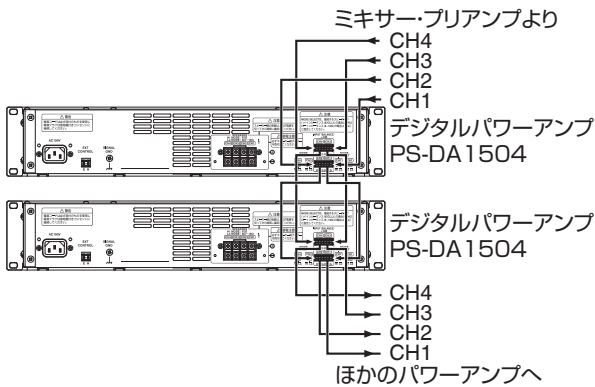
(次のページへつづく)

■ 入力の前列接続について

接続可能チャンネル数は、ミキサーの各出力あたり最大 9 チャンネルです。
(ミキサー出力インピーダンス 2kΩ 時)
同じ信号を他のチャンネルに入力したい場合は、コネクタ一部分で入力信号を分配し接続してください。分配方法は、ケーブルの作製方法を参考にしてください。

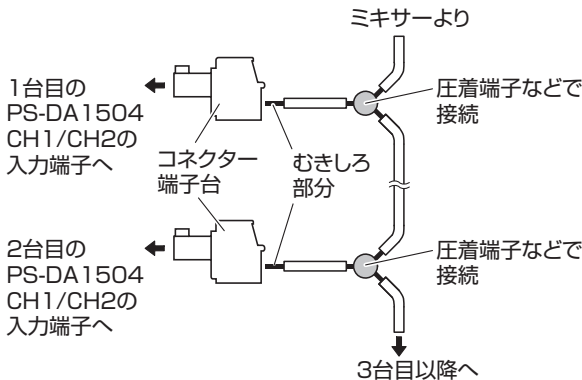
ご注意：

- 本機の入力インピーダンスは 20kΩ です。並列接続時はミキサーの出力インピーダンス以下にならないようご注意ください。



■ ケーブルの作製方法

並列接続をするためのケーブルを作製する場合は、下図を参考にしてください。



ご注意：

- コネクタ端子台の差し込み部分へ接続するワイヤーは 1 本のみとしてください。
- コネクタ端子台へ接続するワイヤーのむきしろ部分には、はんだめっきをしないでください。
- 圧着端子などで接続した部分は、絶縁テープなどで絶縁処理してください。

■ 絶縁スリーブ付棒端子を使用する

2 本の電線を同時に圧着することができる絶縁スリーブ付棒端子を使用すると、上図の方法の様に接続部分を絶縁する必要がなくなります。並列接続のワイヤーを作製する場合は、絶縁スリーブ付棒端子を推奨します。

推奨棒端子品番：AI TWIN 2 x 0.5-8 WH
(フェニックス・コンタクト製)

※適応電線断面積範囲を確認し、正しい端子を選んでください。

圧着工具品番：CRIMPFOX 6
(フェニックス・コンタクト製)

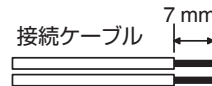
外部起動端子への接続

■ 外部起動用端子台 (2 ピン) の配線

ご注意：

- 本機の外部起動端子 (EXT CONTROL) への接続は、電波障害ノイズを防止するため、下記を参照し、付属の外部起動用端子台 (2 ピン) に付属のフェライトコアを巻き付けたケーブルを取り付けて使用してください。

1 接続ケーブルを下図の様に処理する。



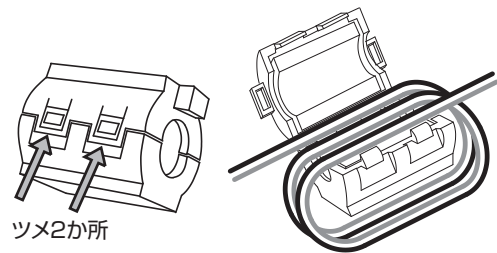
メモ：

- ケーブルはフェライトコアに巻き付けるため、絶縁体を含めた外径が 1.5mm 以下のワイヤーを使用してください。

2 付属のフェライトコアのツメをはずして開き、接続ケーブルを 2 回巻き付けて、「カチッ」と音がするまでフェライトコアを閉じる。

メモ：

- フェライトコアの位置は端子台から 1cm 以内になるようにしてください。

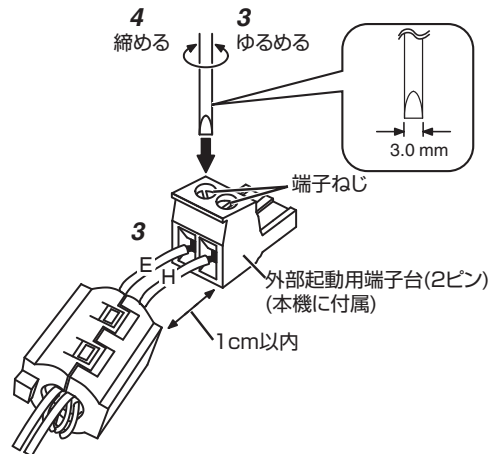


3 マイナスドライバーを使って端子ねじをゆるめ、フェライトコア付きのケーブルを差し込む。

メモ：

- マイナスドライバーは、ブレード幅が 3.0mm 程度のものを使用してください。

4 端子ねじを締め付け、ケーブルが抜けないことを確認する。



5 本機の外部起動端子に接続する。

ラックへの組み込みについて

設置上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するために本文をお読みいただき、次の条件で設置をお願いします。

ご注意：

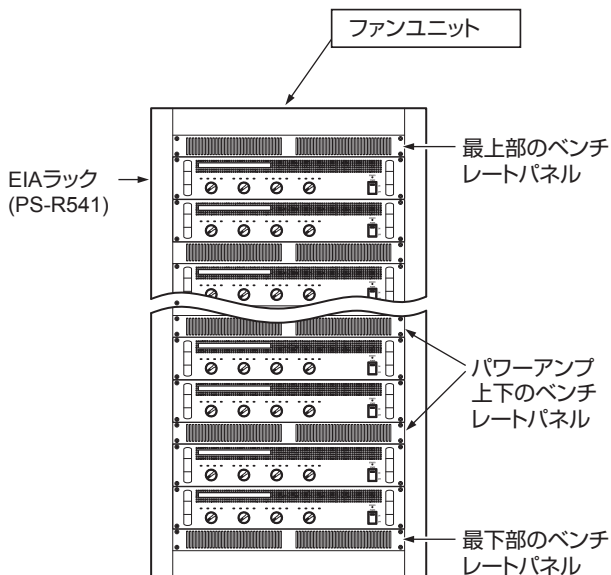
- 本機の放熱を妨げると故障の原因となることがあります。
- 棚置きで使用する場合は重ね置きは避けてください。
- ラックに組み込む場合、通風のため本機 2 台に対して 1U (約 44mm) 以上のベンチレーションスペースを上下に取ってください。
- 密閉したラックでは使用しないでください。

メモ：

- 本機には、セットの前面に通風孔があげてあります。通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。

■ ラックで使用する場合

- ラックに組み込む場合、通風のため本機 2 台に対して 1U (約 44mm) 以上のベンチレーションスペースを上下に取ってください。
- 3 台以上で使用する場合、ファンユニット (PS-RU40 または PS-R413B) を取り付けてください。
- EIA ラック (PS-R541、PA-R641B、PA-R631B) などに組み込む場合、放熱効果をよくするため、ラックの最上部と最下部にもベンチレートパネル (PS-RU01V) を取り付けてください。
- ラックへの取り付けは付属のラックマウント用ねじ (M5) をご使用ください。



■ 棚置きで使用する場合

- 棚置きで使用する場合、必ずフットを取り付け (P. 14 ページ)、側面と上面 5cm 以上、背面 10cm 以上の隙間を取り、放熱のために空気の流通をよくするようにしてください。
- フットを使用しないと、事故や故障の原因となります。

ご注意：

- EIA ラック (PS-R541、PA-R641B、PA-R631B) を使用される場合、十分な放熱効果を得るためにファンユニット (PS-RU40 または PS-R413B) をラック上面内側に必ず取り付けてください。
- 取り付け台数に関しては、下記 [参考] をご覧ください。取り付け方法の詳細については、PS-RU40 または PS-R413B の「取扱説明書」をご覧ください。
- 本機の電源プラグはアース端子付き 3 芯プラグです。パワーコントローラー (PS-P32-B/H) の AC アウトレットへは接続できません。3 芯プラグが接続できるアウトレットを装備したパワーコントローラーをお使いください。

[参考] ファンユニット取り付け台数のめやす

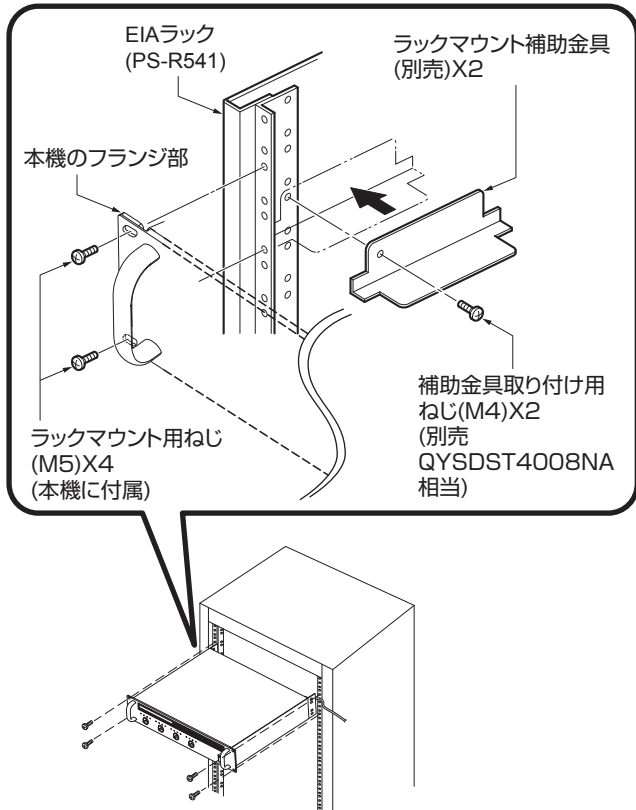
- 本機 4 台までは、ファンユニット (PS-R413B) を 1 台。
- 本機 5 台から 8 台までは、ファンユニット (PS-R413B) を 2 台。
- 本機 9 台に対して、ファンユニット (PS-RU40) を 1 台。

ラックマウント補助金具を使用して取り付け

ラックマウント補助金具 (別売) を使用して、本機を EIA ラック (PS-R541 / PA-R641B / PA-R631B / PS-R30) に組み込む場合、ラックマウント補助金具 (別売) をねじ (M4) で取り付けてからラックへ組み込みます。

ご注意：

- ラックマウント補助金具 (別売) の購入については、弊社営業担当または最寄りのサービス窓口にご相談ください。ラックマウント補助金具 (品番：SS410739-012-H)

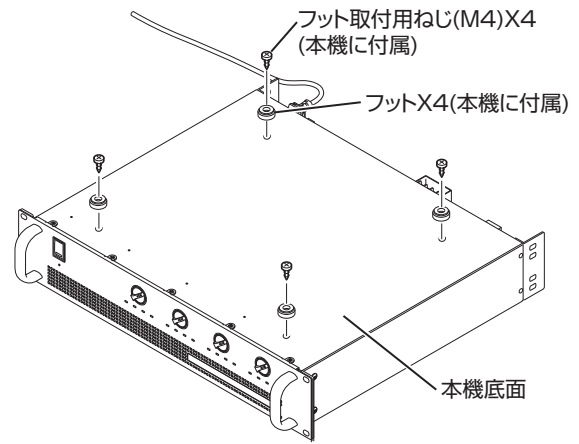


ご注意：

- 本機のフランジ部前側の手掛けは、ラックマウントされている本機を引き出すためのものです。本機の運搬など、他の目的で使用しないでください。

フットの取り付けについて

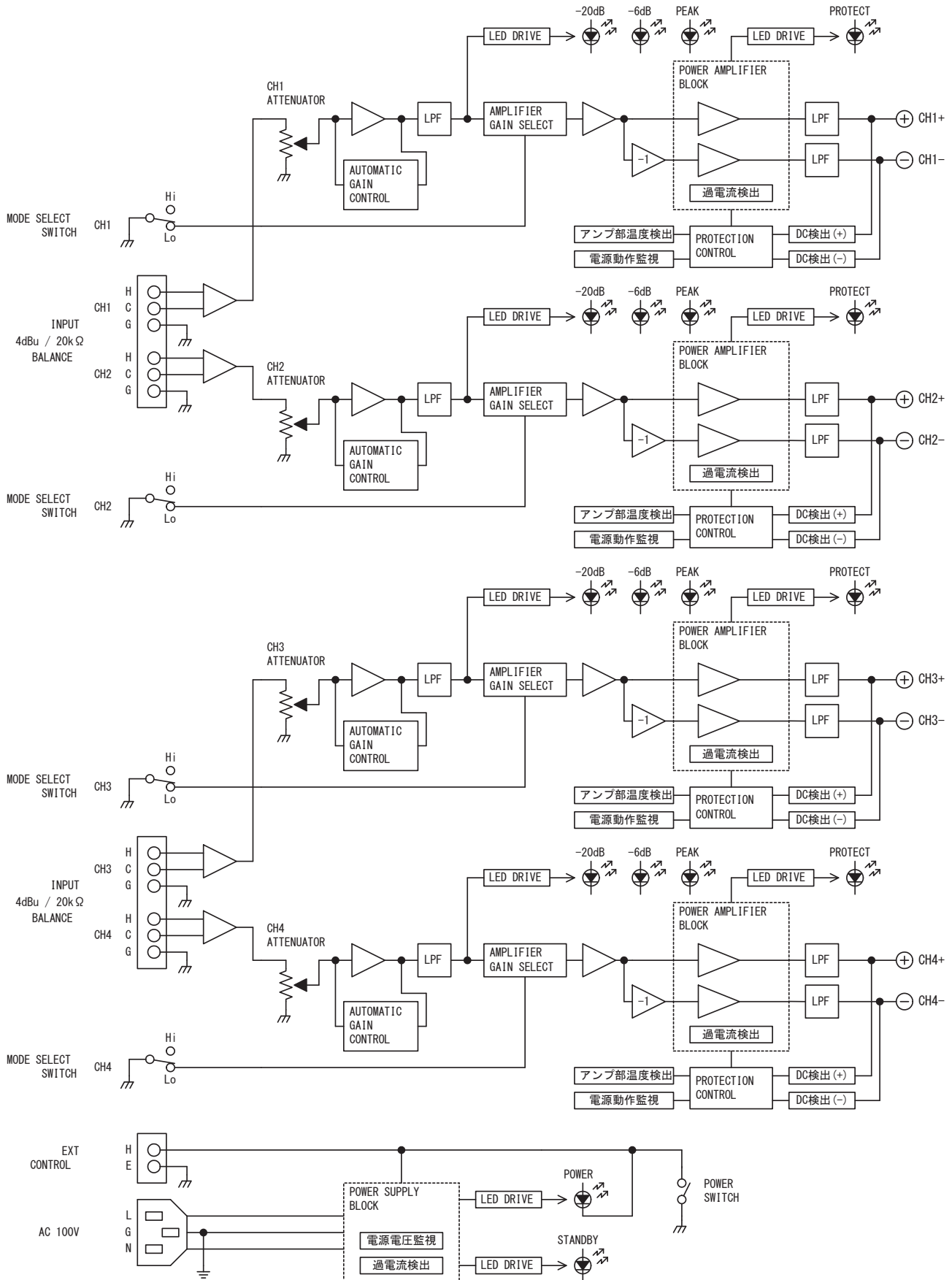
本機を直接カウンターや棚に置いて使用する場合、必ず底面にフット (付属) を本機の底面に取り付け、安定した水平な場所に置いて使用してください。



ご注意：

- フットの取り付けには、必ず付属のねじ (M4 × 4) を使用してください。

ブロックダイアグラム



困ったときは

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない スタンバイランプが点灯していない。	電源コードが抜けている。	電源コードを接続してください。	10 ページ
電源が切れない	外部起動端子の (H) と (E) の間 が短絡 (ショート) している。	フロントパネルの電源スイッチで電源 を ON / OFF する場合は、外部起動端 子は開放してください。	12 ページ
音が出ない プロテクト表示ランプが点灯し ていない。 電源表示ランプは点灯してい る。	ケーブルが抜けている。	電源を切った状態で、入力端子、スピー カー出力端子のケーブルを接続してく ださい。	11 ページ
	入力アッテネーターが「∞」の 位置 (絞りきり) になっている。	フロントパネルの入力アッテネーター を操作してください。	8 ページ
音が出ない プロテクト表示ランプが点灯し たままになっている。	機器内部の温度が高くなってい る。	電源スイッチを OFF にし、機器の温度 が下がってから、電源を ON にしてく ださい。本機の周囲に必要な隙間を確 保しているかも確認してください。	—
	スピーカー端子の ⊕ と ⊖ の間 が短絡 (ショート) している。	電源スイッチを OFF にしてから、下記 について確認してください。	9 ページ
	接続しているスピーカーのイン ピーダンスと出力切替スイッ チの設定が合っていない状態で運 用している。	<ul style="list-style-type: none"> リアパネルの出力切替スイッチを使 用するスピーカーのインピーダンス に合わせて切り替えてください。 スピーカー出力端子に接続されてい るスピーカーのインピーダンスを確 認してください。 	9 ページ
	接続したスピーカーのインピー ダンスが低すぎる。		9 ページ
音が出ない スタンバイランプと電源表示ラ ンプが点灯している。	過大出力状態で運用していた。	電源スイッチを OFF にし、フロントパ ネルの入力アッテネーターを適切な出 力まで下げてから電源を ON にしてく ださい。	8 ページ
	機器内部の温度が高くなってい る。	電源スイッチを OFF にし、機器の温度 が下がってから、電源を ON にしてく ださい。本機の周囲に必要な隙間を確 保しているかも確認してください。	—
	電源が異常により停止してい る。	電源スイッチを OFF にしてから、下記 について確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> リアパネルの出力切替スイッチを使 用するスピーカーのインピーダンス に合わせて切り替えてください。 スピーカー出力端子に接続されてい るスピーカーのインピーダンスを確 認してください。 もしくは接続機器の出力音量レベ ルを下げてください。	—

症状	原因	処置	参照ページ
音が小さい	出力切替スイッチを「Lo」側に切り替えたチャンネルのスピーカー出力端子に、ハイインピーダンススピーカーが接続されている。	ハイインピーダンススピーカーを使用するときは、リアパネルの出力切替スイッチを「Hi」側に切り替えてください。	9 ページ
音がひずむ	音量が大きすぎる。	フロントパネルの入力アッテネーターで音量を下げてください。	8 ページ
	接続したスピーカーのインピーダンスが低い。	電源スイッチを OFF にしてから、下記について確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> リアパネルの出力切替スイッチを使用するスピーカーのインピーダンスに合わせて切り替えてください。 スピーカー出力端子に接続されているスピーカーのインピーダンスを確認してください。 	9 ページ
	入力端子に接続した機器の音量が大きすぎる。	接続機器の出力音量レベルを下げてください。	—
冷却ファンの回転音が大きくなった	機器内部の温度が高くなっている。	電源スイッチを OFF にし、機器の温度が下がってから、電源を ON にしてください。本機の周囲に必要な隙間を確保しているかも確認してください。	—

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理いたします。

消耗部品について

下表の部品は消耗部品であり、寿命時間を目安に交換が必要です。寿命時間は目安であり、使用環境や使用条件によって異なります。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命の目安
冷却ファン	30,000 時間

サービス窓口

下記 URL をご覧ください。

https://jkpi.jvckenwood.com/support/repair_department.html
業務用修理窓口 (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: デジタルパワーアンプ
型名	: PS-DA1504
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

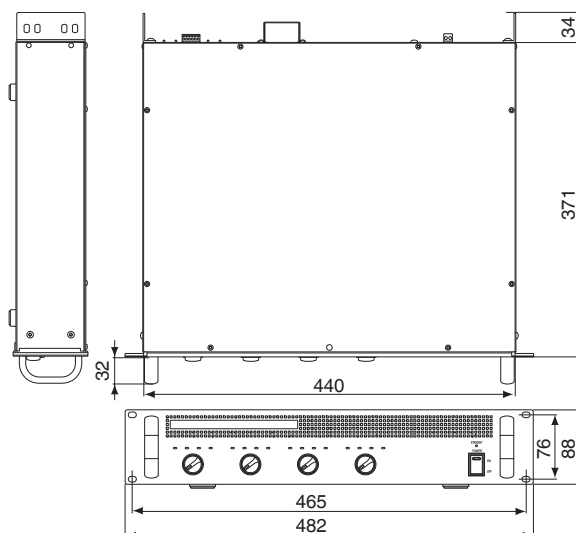
定格出力	: 150 W x 4(8 Ω)、 150 W x 4(67 Ω)
周波数特性	: 50 Hz ~ 20 kHz
全高調波歪率	: 0.2 % 以下 (1 kHz、定格 1/8 出力、 20 ~ 20 kHz BPF ON)
クロストーク	: -70 dB 以下
S/N 比	: 100 dB 以上 (IHF-A オン、入力短絡時)
入力感度	: +4 dB (0 dB=0.775 V)
電圧利得	: 29 dB (8 Ω 時)、38.2 dB (67 Ω 時)
入力インピーダンス	: 20 kΩ (電子平衡)
増幅方式	: D 級増幅方式
電源	: AC100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	: 175 W (電気用品安全法)
最大電流	: 9.3 A (定格出力時)
冷却方式	: 強制空冷
外形寸法	: 幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行き 371 mm (突起物含まず)
質量	: 6.8 kg
仕上げ	: フロントパネル: 黒色塗装

本機は「高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品」です。

■ 付属品

保証書	× 1
取扱説明書	× 1
電源コード (2.5 m)	× 1
電源コードクリップ	× 1
電源コードクリップ固定用ねじ (M4)	× 2
コネクター端子台 (6 ピン)	× 2
外部起動用端子台 (2 ピン)	× 1
フェライトコア	× 1
ラックマウント用ねじ (M5)	× 4
フット	× 4
フット取付用ねじ (M4)	× 4

■ 外形寸法図 (単位: mm)



※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>